

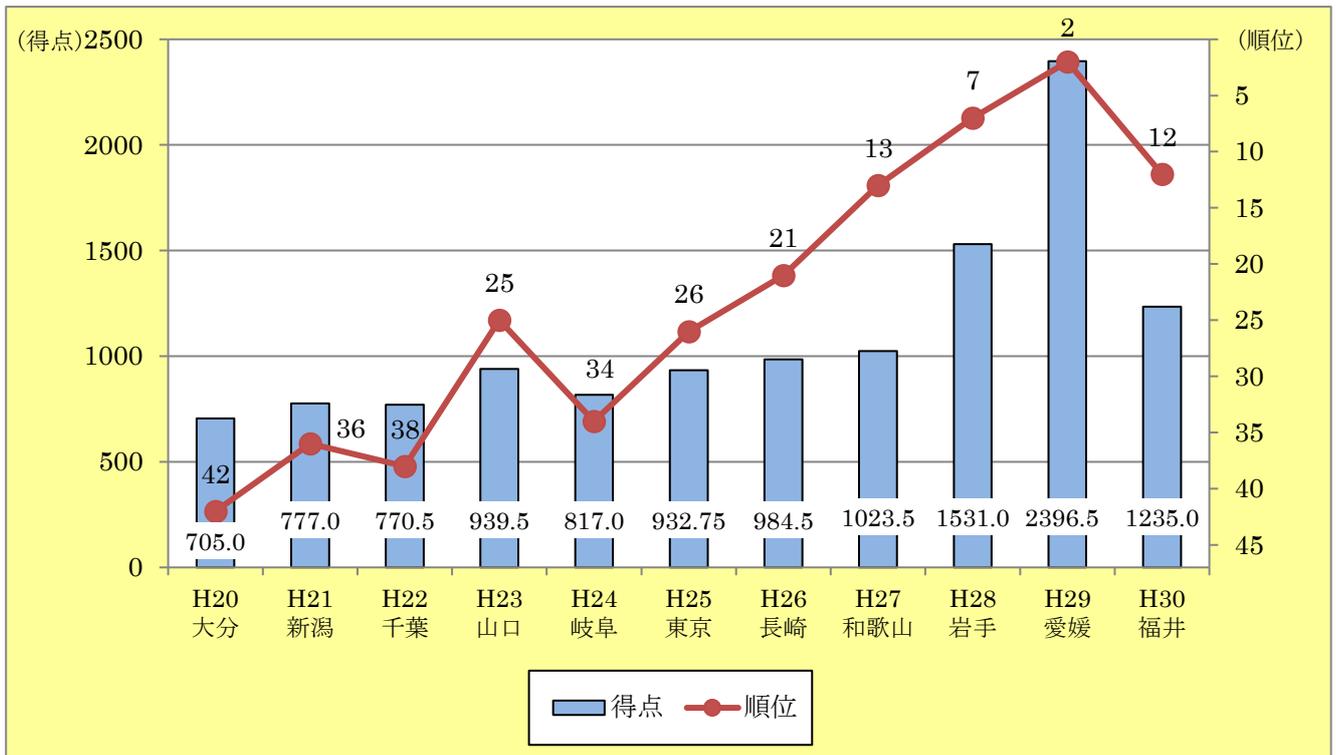
第2章 えひめ国体に向けた競技力向上の成果と課題

1 愛媛県の競技力の現状

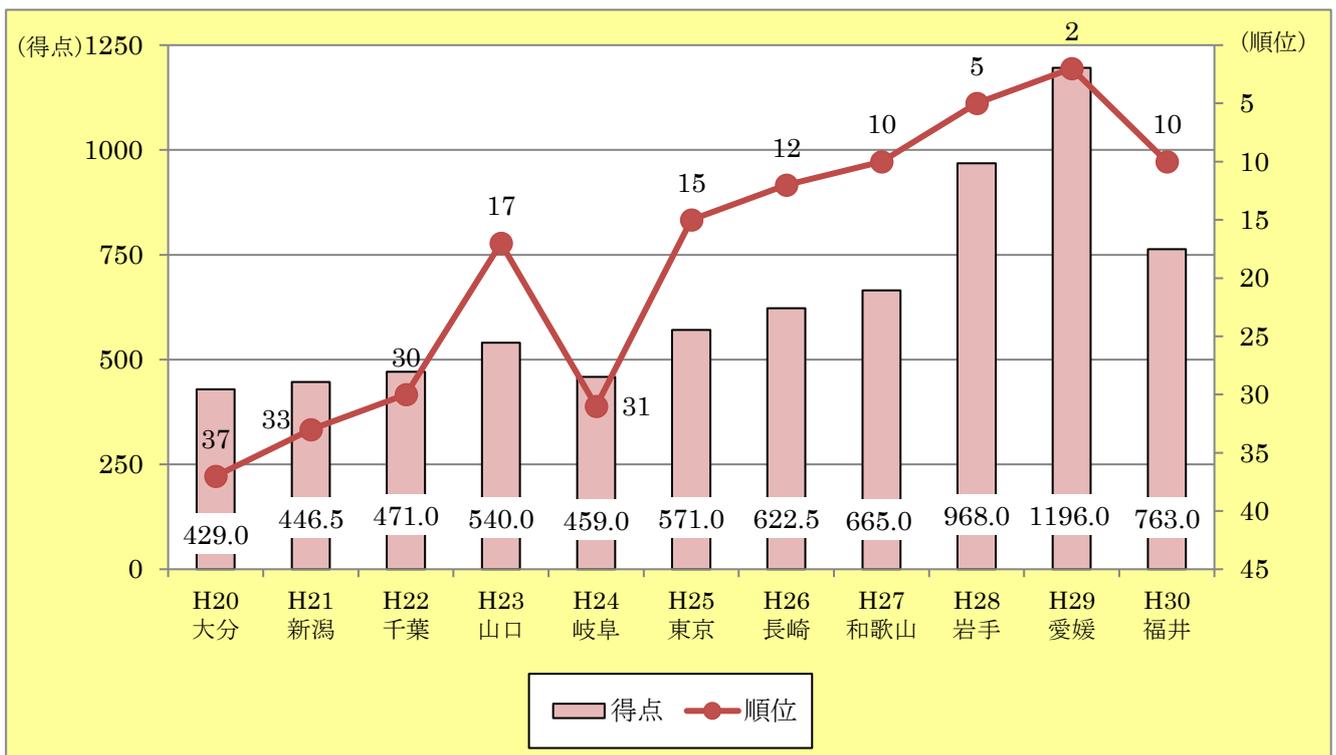
(1) 国民体育大会の成績（平成20年度以降）

① 天皇杯（男女総合成績）、皇后杯（女子）の獲得得点及び順位の推移

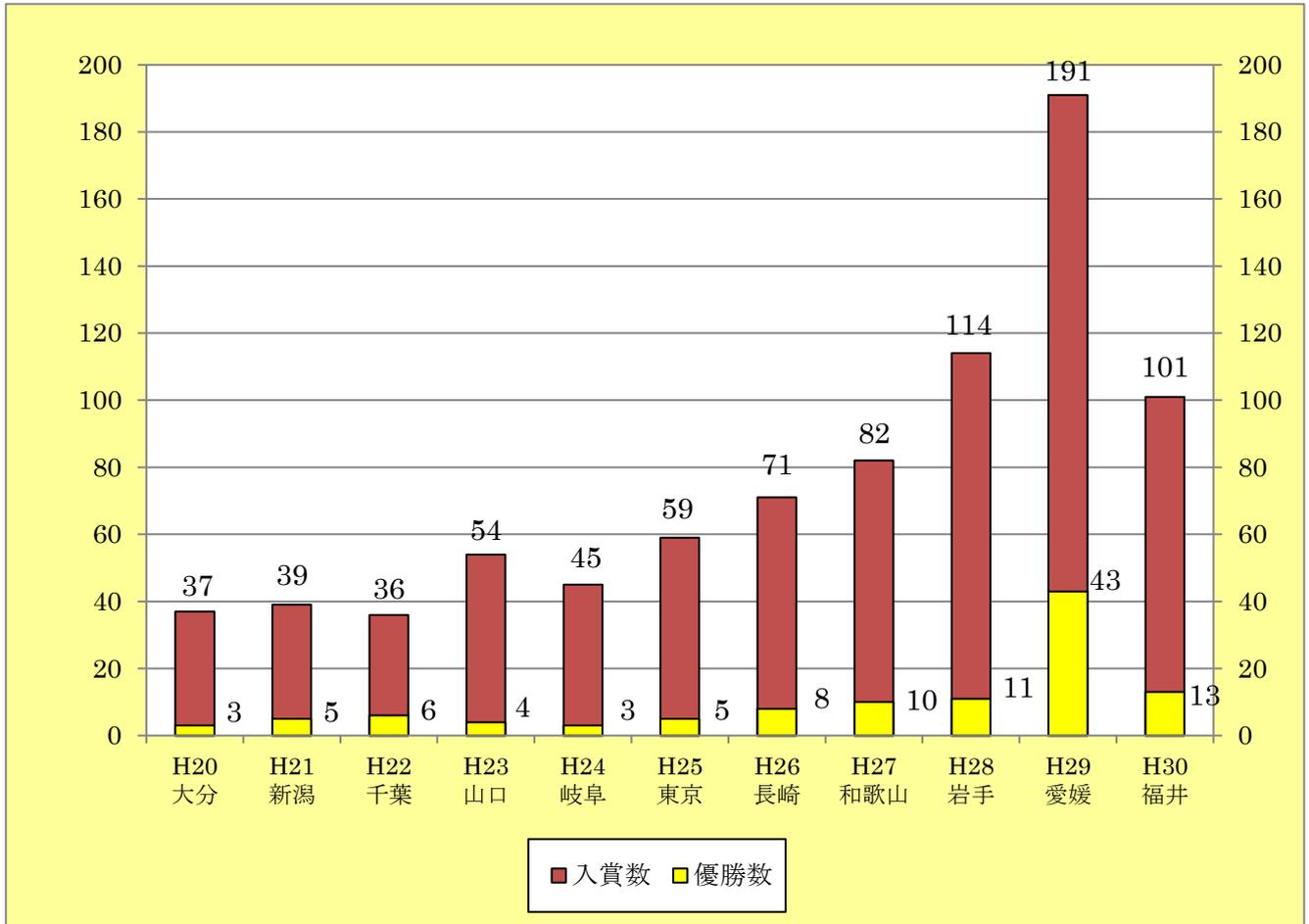
《天皇杯》



《皇后杯》



② 優勝数及び入賞数の推移

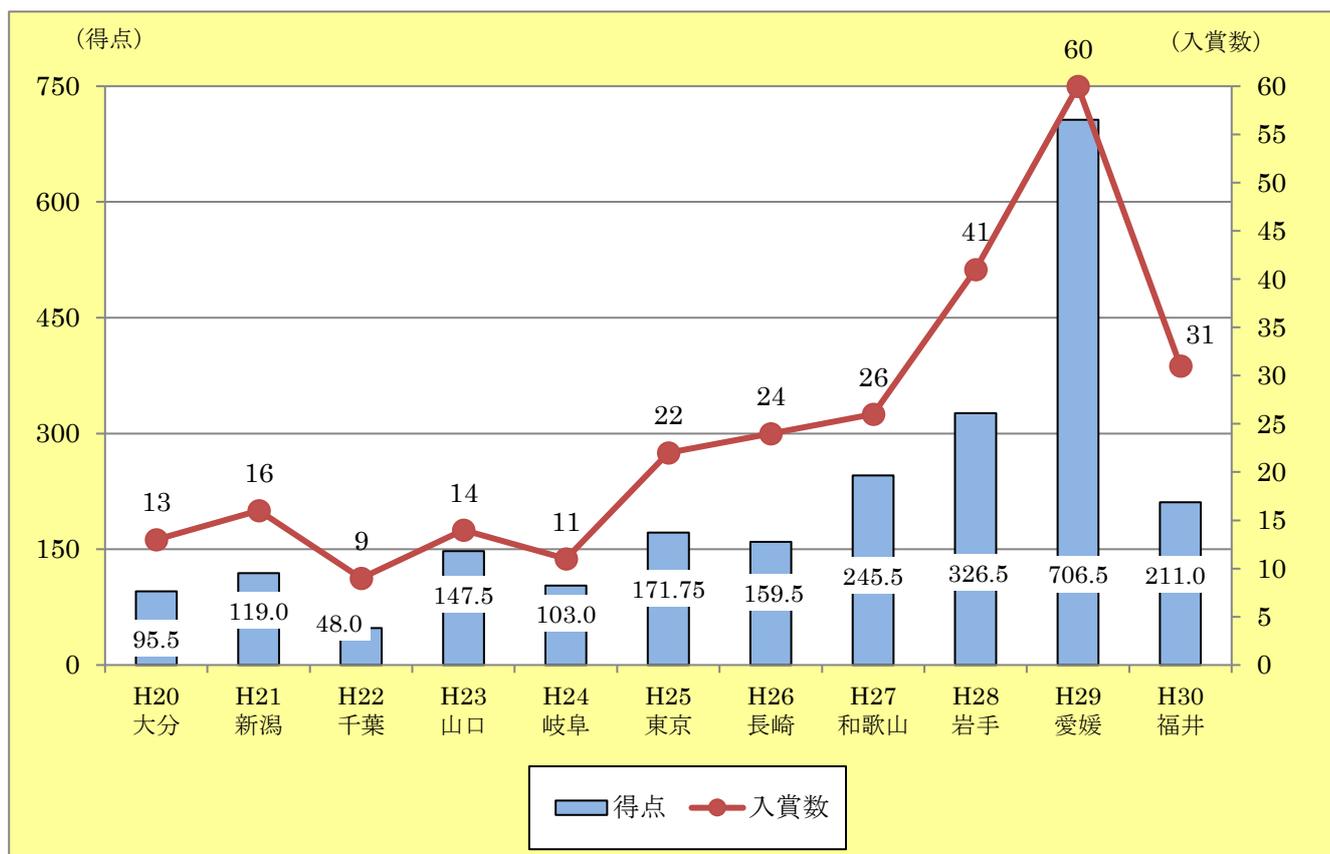


③ 天皇杯 1位・2位県との得点比較

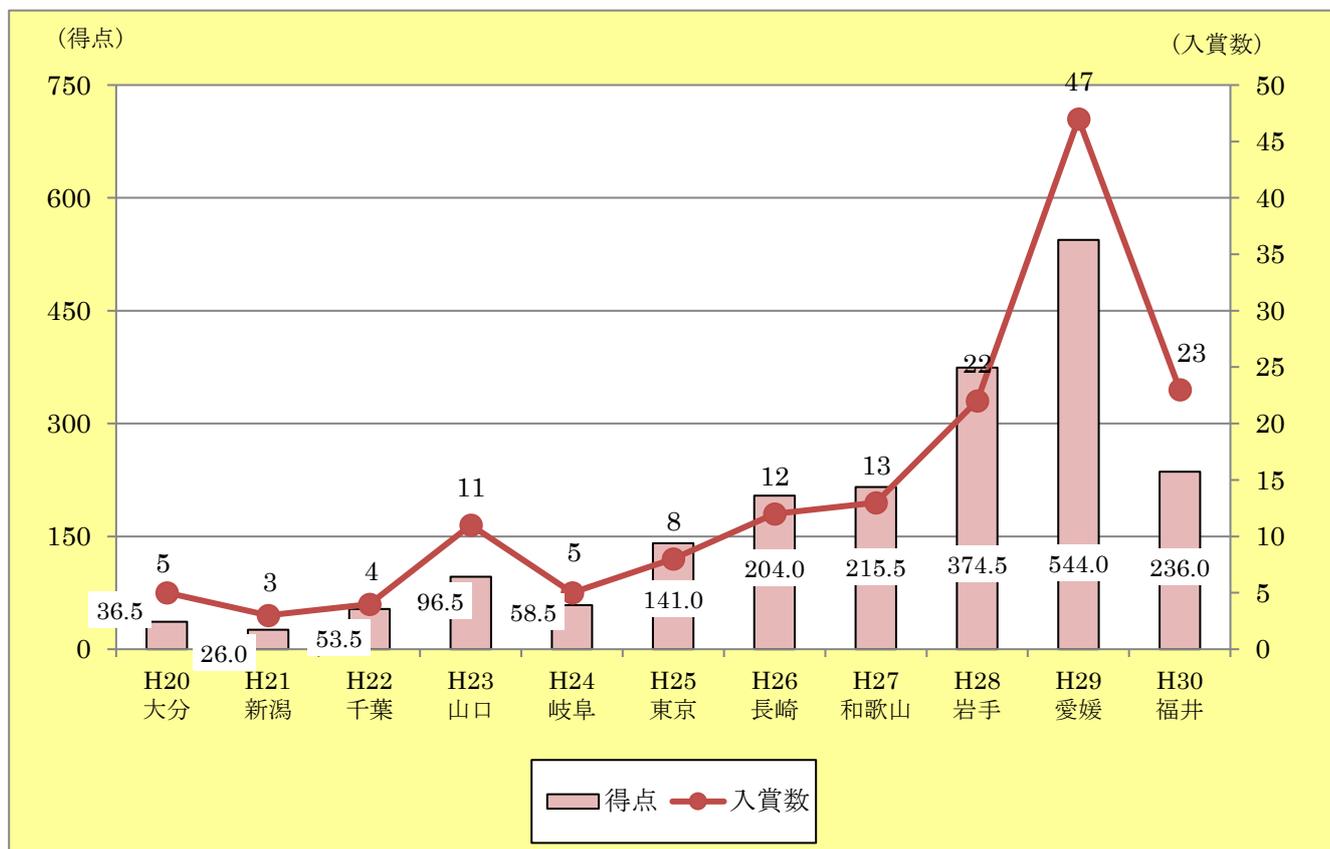
基本計画 スケジュール		準備期	育成期				充実期			躍進期		開催年	定着期
回数/開催年		63回 H20	64回 H21	65回 H22	66回 H23	67回 H24	68回 H25	69回 H26	70回 H27	71回 H28	72回 H29	73回 H30	
開催県		大分	新潟	千葉	山口	岐阜	東京	長崎	和歌山	岩手	愛媛	福井	
天皇杯 1位	得点	2386.5	2426	2921.5	2220.5	3028.5	3486	2364	2257	2532.5	2535	2896	
	都県	大分	新潟	千葉	山口	岐阜	東京	長崎	和歌山	東京	東京	福井	
天皇杯 2位	得点	1893	1910	2171.5	2053.5	2031	1839.5	2113.5	2052.5	1924	2396.5	2246	
	都府県	東京	東京	東京	東京	東京	大阪	東京	東京	岩手	愛媛	東京	
愛媛県	天皇杯 得点	705	777	770.5	939.5	817	932.75	984.5	1023.5	1531	2396.5	1235	

④ 種別別の獲得得点及び入賞数の推移

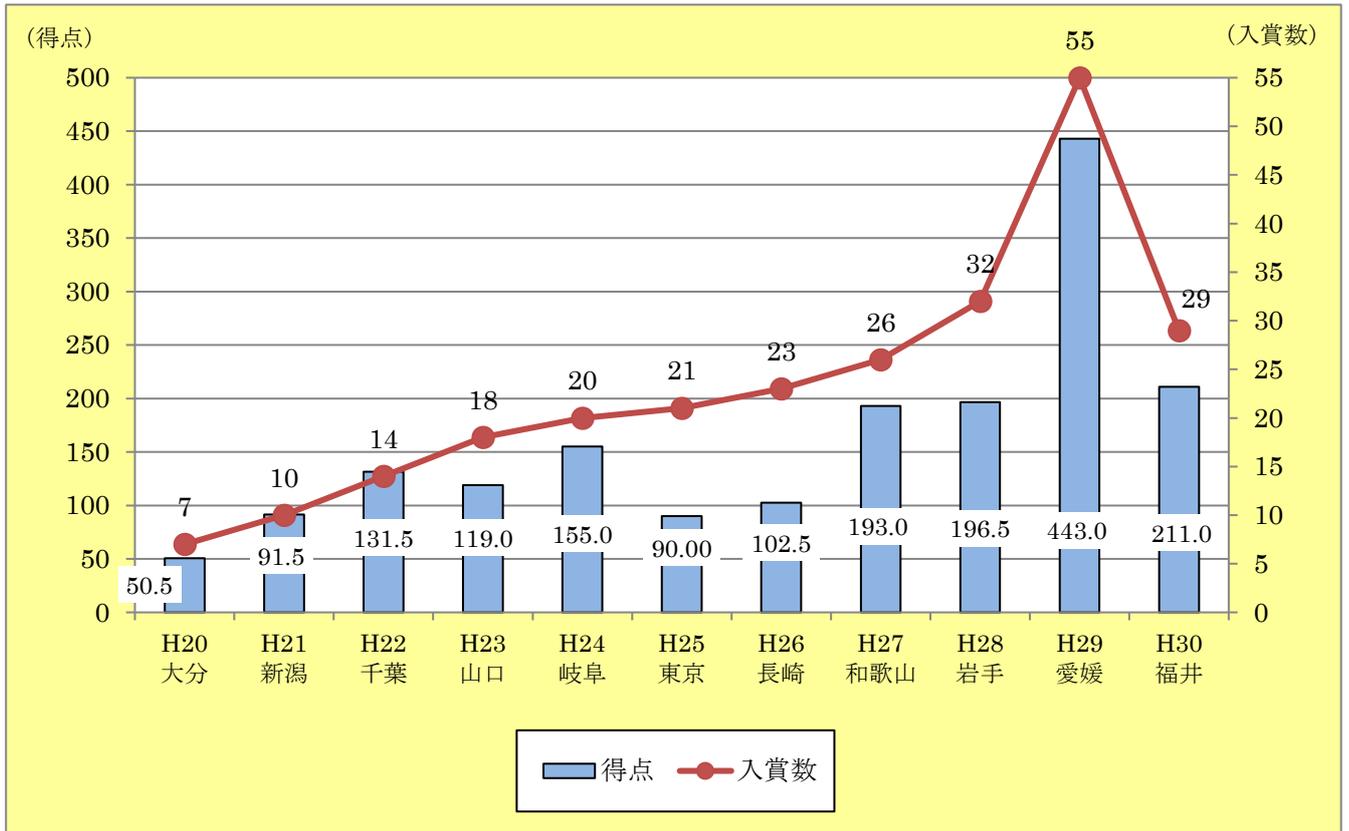
《成年男子》



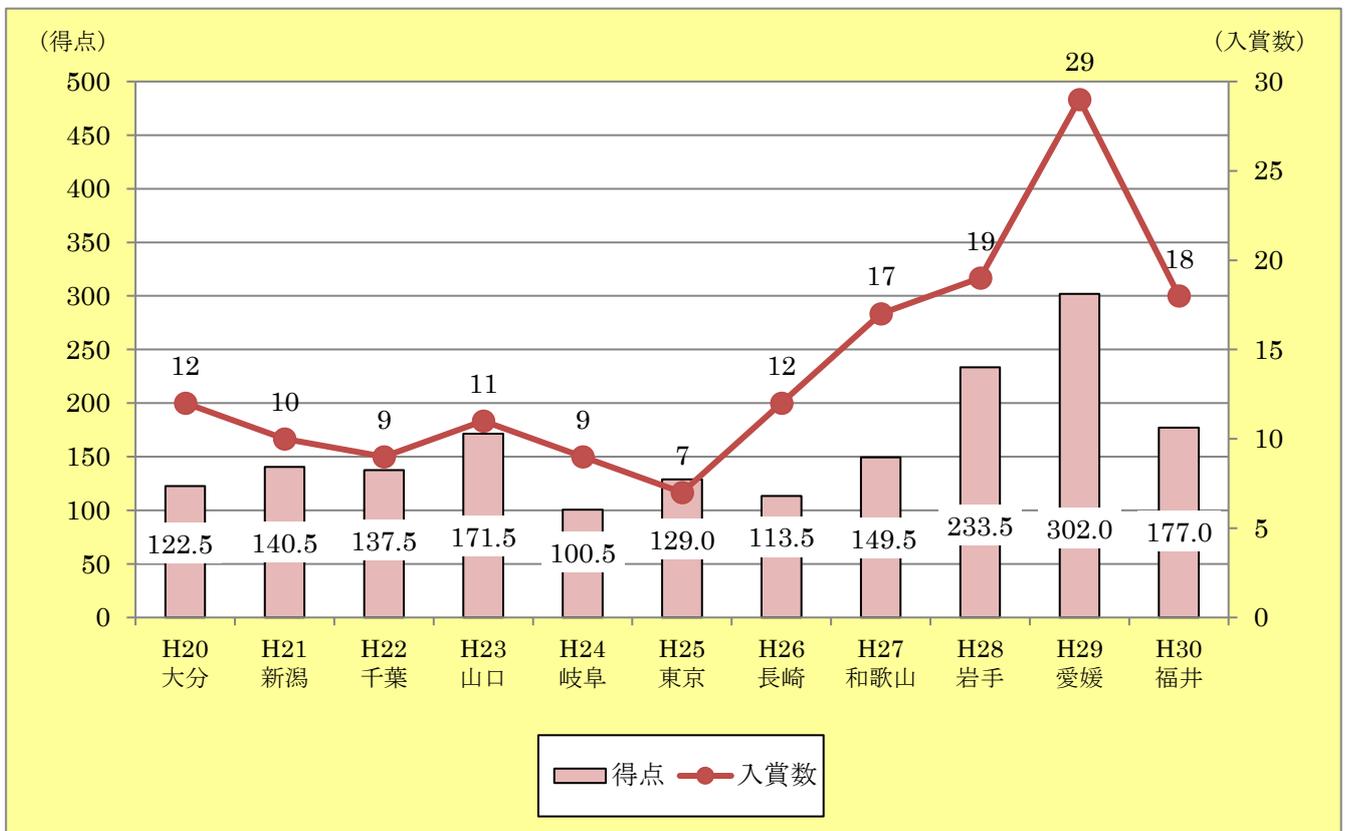
《成年女子》



《少年男子》



《少年女子》

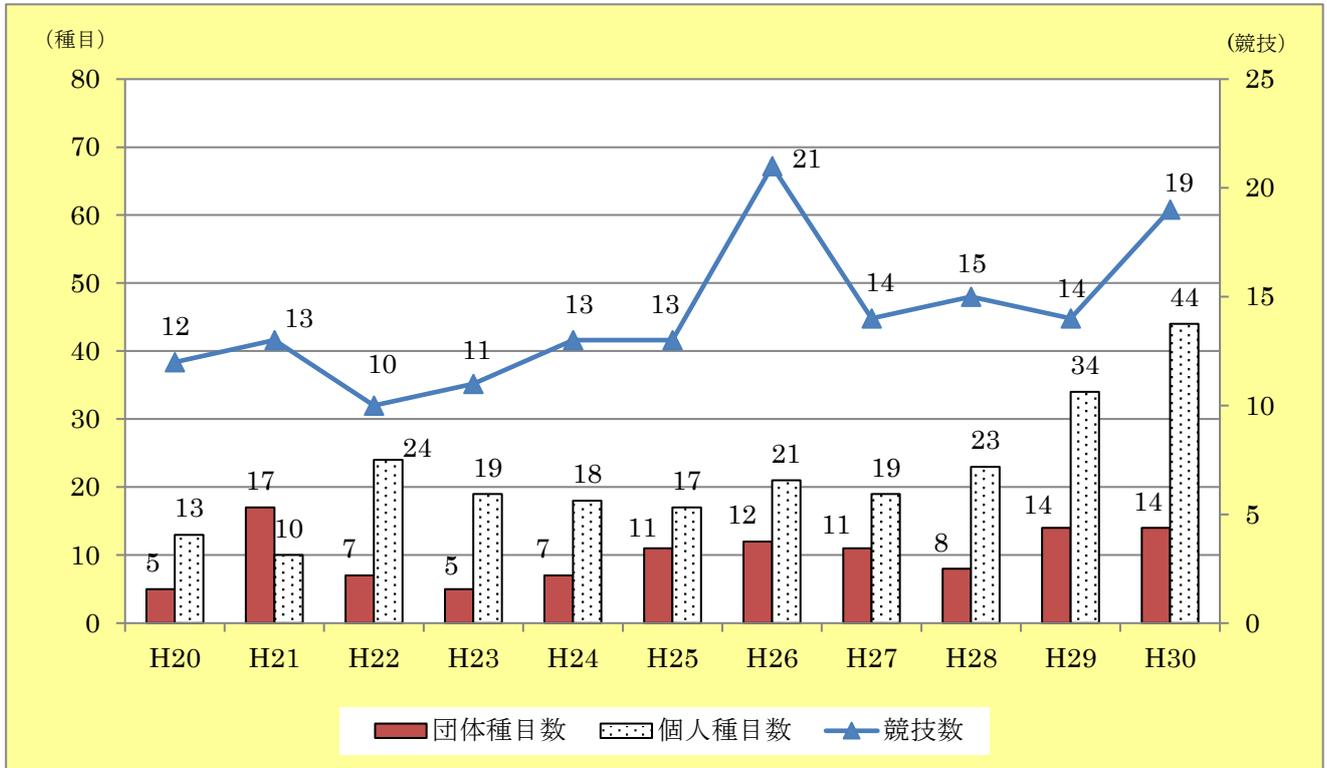


⑤ 競技別獲得得点の推移（えひめ国体までの10年間：平成20～29年度）

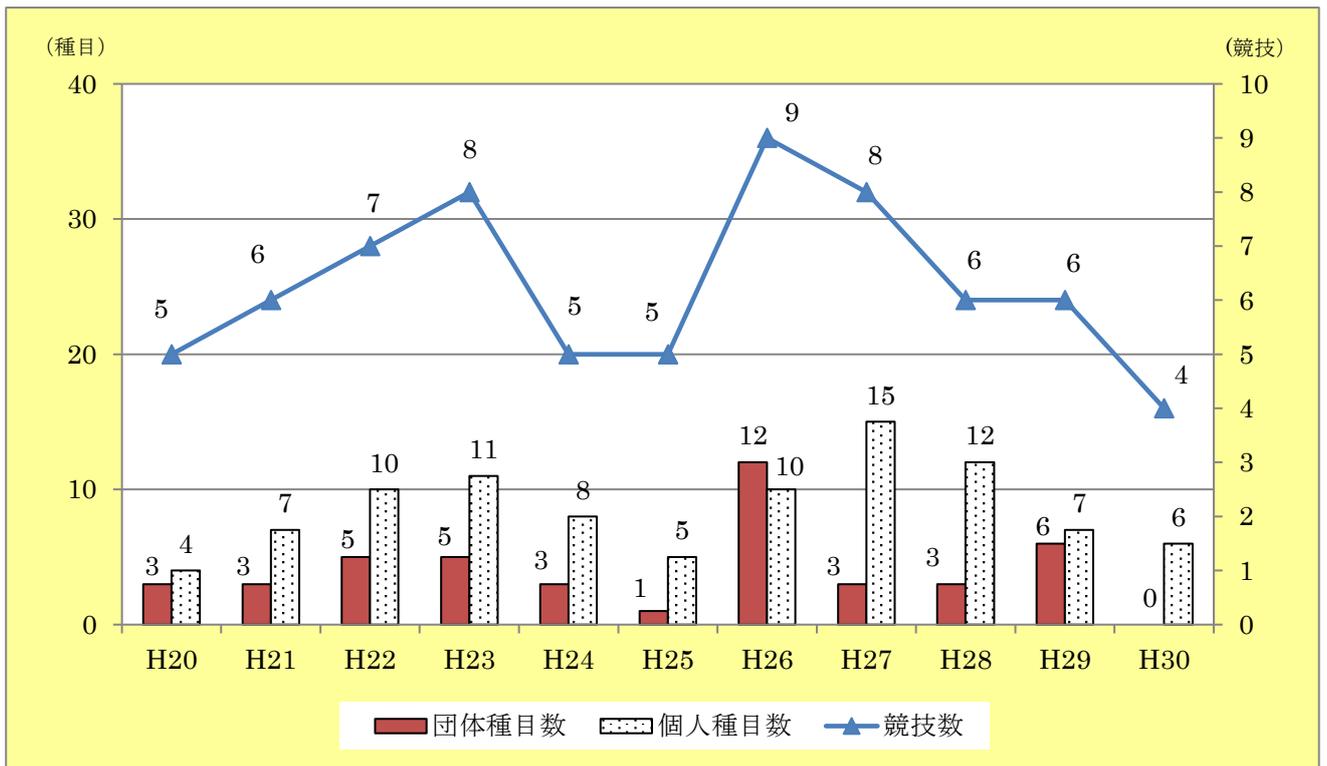
開催県		大分	新潟	千葉	山口	岐阜	東京	長崎	和歌山	岩手	愛媛	10年間 平均
回数		63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	
開催年		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
1	陸上競技	29	6	26	23	21	25	33	33	44	37	27.70
2	水泳	14	6	10	19	17	10.5	5	8	25.5	67	18.20
3	サッカー	0	20	20	40	20	48	56	20	80	132	43.60
4	テニス	6	0	0	0	0	18	24	12	33	48	14.10
5	ボート	56	106	130	118	126	76.5	142	97	139	181	117.15
6	ホッケー	20	20	20	12	20	32	0	20	20	60	22.40
7	ボクシング	0	0	0	8	2.5	5	10	0	24	34	8.35
8	バレーボール	7.5	0	12	0	0	17.5	0	0	0	42	7.90
9	体操	0	0	0	0	0	0	0	0	10	60	7.00
10	バスケットボール	27.5	12.5	12.5	0	40	27.5	40	75	67.5	25	32.75
11	レスリング	19	33	8	14.5	18.5	36.5	34.5	29.5	35.5	55.5	28.45
12	セーリング	0	0	0	18	0	12	0	8	8	61	10.70
13	ウエイトリフティング	13	15	21	20	29	12	32	43	36	79	30.00
14	ハンドボール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12.5	1.25
15	自転車競技	0	4	5	8	7	1	14	36	3	13	9.10
16	ソフトテニス	0	0	0	0	5	35	25	10	5	0	8.00
17	卓球	0	0	0	16.5	0	0	0	7.5	0	16.5	4.05
18	軟式野球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
19	相撲	0	0	0	0	0	0	0	12.5	53	30.5	9.60
20	馬術	11	2	5	0	0	0.25	6	8.5	6	51	8.98
21	フェンシング	21	24	0	0	0	18	12	18	21	33	14.70
22	柔道	12.5	7.5	18	15	27.5	20	20	0	46	65	23.15
23	ソフトボール	0	64	36	84	44	56	20	128	88	180	70.00
24	バドミントン	0	0	0	7.5	0	0	0	15	0	15	3.75
25	弓道	21	21	0	63	0	21	21	42	96	69	35.40
26	ライフル射撃	0	7	0	5	0	16	0	6	10	17	6.10
27	剣道	0	12.5	20	7.5	0	0	35	86	62.5	144	36.75
28	ラグビーフットボール	0	0	0	0	12	0	0	20	47.5	42.5	12.20
29	山岳	0	0	0	0	0	0	0	0	12	33	4.50
30	カヌー	3	6	0	0	0	0	3	11	25	66	11.40
31	アーチェリー	0	0	0	0	0	3	3	18	30	15	6.90
32	空手道	2.5	2.5	0	13.5	12.5	0	0	2.5	5	102	14.05
33	銃剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	—	24	2.67
34	クレ射撃	0	0	0	0	0	18	0	0	12	0	3.00
35	なぎなた	24	0	24	42	15	3	18	6	51	93	27.60
36	ボウリング	0	8	3	0	0	20	26	31	9	59	15.60
37	ゴルフ	18	0	0	0	0	0	0	0	10.5	0	2.85
38	スキー	0	0	0	2	0	1	0	0	0	2	0.50
39	スケート	0	0	0	3	0	0	5	0	16	31	5.50
40	アイスホッケー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
41	トライアスロン	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	0.00

(2) 全国高校総体、全国中学総体の成績 (H20年度以降)

① 全国高等学校総合体育大会の入賞数の推移



② 全国中学校体育大会の入賞数の推移



2 えひめ国体に向けた取組み（4課題の解決に向けた取組み）

（1）推進体制の整備・充実

[具体的な取組み]

平成19年12月に愛媛県競技力向上対策本部を設置し、同本部を中心に開催準備と一体になって、県体育協会（現スポーツ協会）や競技団体、学校体育関係者等と緊密な連携を図りながら競技力向上対策に取り組みました。

準備期		育成期			充実期			躍進期			
H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年	
愛媛県競技力向上対策本部の充実・強化							国体推進局移管による体制の一層充実				えひめ 国体
学校体育関係者による連絡協議会の充実											
会場地市町における競技種目の開催に向けた準備体制の整備											
競技団体の組織の充実							関係諸団体の組織の整備・連携強化				
社会人スポーツ推進協議会の充実							社会人スポーツ推進協議会との連携				

[今後の課題]

- ・愛媛県競技力向上対策本部の継続及び国体開催以降の基本計画の見直し
- ・スポーツ関係諸団体との継続的な連携・協力による効果的な強化体制の再構築
- ・社会人スポーツ推進協議会との継続的な連携・強化
- ・国体レガシーの継承・発展を目指した市町との連携・協力体制の構築

（2）指導體制の充実

[具体的な取組み]

「優秀指導者の招へい・確保」として、全国トップコーチの派遣や優れた競技力を有するスポーツ専門員の強化指定校等への配置、「指導者の養成及び資質向上」として、定期的な指導者講習会等の開催や指導者資格取得講習会を含む最新かつ実践的な指導方法を習得する研修への参加経費を補助したほか、教育委員会と連携して学校運動部活動への指導者の適正配置及び教員採用試験における特別枠の導入などに取り組み、指導體制の充実を図りました。

準備期		育成期			充実期			躍進期			
H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年	
指導者資質向上事業(指導者中央講習会派遣事業・指導者資質向上講習会事業)											えひめ 国体
								えひめ国体ひめこデイルター事業			
競技力向上対策事業(競技力強化対策事業・競技専属アドバイザーコーチ事業)											

* 対策本部事業を記載

[今後の課題]

- ・継続的な全国トップコーチ等の招へい及びスポーツ専門員を活用した強化体制の再整備
- ・指導者が少ない競技に対し、一定の競技経験を有する指導者の確保
- ・各競技団体の中核的な役割を担う指導スタッフの更なるレベルアップ及びネットワークの充実
- ・えひめ国体で監督を務めた指導者の後継者となる次世代の指導者の養成

(3) 選手の発掘・育成・強化

[具体的な取組み]

競技団体が実施する強化事業に対して可能な限り柔軟かつ戦略的に有効な支援をしたほか、成年種別はスポーツ専門員などの有望選手の確保や社会人チームへの支援、少年種別は計画的なターゲットエイジの育成・強化や強化指定校への支援を行い、大きな成果をもたらしました。

準備期		育成期			充実期			躍進期		
H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年
ふるさと選手支援・強化事業										えひめ 国体
競技力向上対策事業(競技力強化対策事業・競技専属アドバイザーコーチ事業)										
えひめ国体小中学生優秀選手発掘・育成事業										
					えひめ国体ターゲットエイジ強化事業					
						社会人スポーツ強化支援事業				

* 対策本部事業を記載

[今後の課題]

- ・競技団体等が継続して実施できる強化事業等の経費に対する経済的支援
- ・えひめ国体後の競技引退等による成年種別のスムーズな世代交代のサポート
- ・成年選手のUターン、Iターン就職促進に向けた継続的な支援
- ・未普及競技のジュニア世代における「発掘→育成→強化」まで続く一貫指導体制の構築
- ・学校運動部活動への支援と並行して競技団体が運営するクラブチーム等を主体とする強化システムづくり
- ・ジュニアアスリート発掘事業を効果的に活用した新たな指導体制の構築

(4) 諸条件の整備

[具体的な取組み]

次のような取組みを通じて、選手・指導者のサポートに努めました。

- ・「練習環境の整備・充実」
未普及競技を中心に高額競技用具を整備
- ・「練習場所・練習時間の確保」
学校・市町等が所管する競技施設の優先利用等の優遇措置の協力依頼、競技団体が実施する強化事業の参加について、選手・指導者の所属先への協力依頼
- ・「スポーツ医科学の支援」
県スポーツ協会スポーツ医科学委員会と連携した選手のメディカルチェックやコンディショニングサポート等
- ・「広報活動の推進」
県の広報誌やホームページ等の広報媒体を活用した本県選手の活躍の紹介等

準備期		育成期			充実期			躍進期		
H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年
えひめ国体ひめっこスポーツ大使招へい事業										えひめ 国体
				競技力向上対策競技用具整備事業						
					ターゲットエイジスポーツ医科学サポート事業					

* 対策本部事業を記載

[今後の課題]

- ・えひめ国体に向けて整備した競技用具の消耗等に伴う新たな整備計画の検討
- ・選手・指導者が練習しやすい競技環境等の整備への支援
- ・県内に十分な競技環境がない競技の練習場所の確保
- ・最先端のスポーツ医科学分野を活用した選手・指導者へのサポート体制の確立
- ・県民総ぐるみで本県スポーツ選手を応援する機運の醸成

3 今後の課題（総括）

えひめ国体で高まった競技力を維持・向上させ、全国に誇る「スポーツ立県えひめ」の実現を図るためには、えひめ国体に向けた競技力向上施策の検証結果を踏まえ、中・長期的な視点に立って、総合的かつ戦略的に競技団体を中心とした強化事業を組織的に展開していく必要があります。

そこで、本県の課題を『愛媛県スポーツ推進計画（平成30年3月策定）』の「4 競技スポーツの振興」で挙げている競技力向上に関わる4つの柱

- (1) 「競技水準の維持・向上」
- (2) 「指導者の養成・資質向上」
- (3) 「ジュニアアスリートの発掘・育成・強化」
- (4) 「スポーツ・医・科学の活用」

の観点で整理し、具体的な取組みを進めていくこととします。

【参考資料】

国体先催県における国体開催後の得点・順位推移（開催年～開催6年後）

項目	愛媛県		先催県の状況																東京 岐阜 千葉 を除いた 平均得点		
	H29 (第72回)		H28 (第71回)		H27 (第70回)		H26 (第69回)		H25 (第68回)		H24 (第67回)		H23 (第66回)		H22 (第65回)		H21 (第64回)			H20 (第63回)	
	愛媛		岩手		和歌山		長崎		東京		岐阜		山口		千葉		新潟			大分	
年度 (国体回数)	得点	順位	得点	順位																	
開催年	2395.5	2	1924.0	2	2257.0	1	2364.0	1	3486.0	1	3028.5	1	2220.5	1	2921.5	1	2426.0	1	2386.5	1	2263.0
1年後	1235.0	12	1125.0	14	1008.5	20	1070.5	17	2113.5	2	1681.0	5	1066.5	15	1612.5	7	1097.0	15	1209.0	14	1321.9
2年後			939.5	24	934.5	26	919.5	28	2052.5	2	1439.5	9	848.5	32	1444.0	7	843.5	33	1039.0	18	1162.3
3年後					912.5	27	940.0	24	2532.5	1	1130.5	15	971.5	22	1524.5	7	933.0	22	953.5	24	1237.3
4年後							725.0	41	2535.0	1	1354.5	10	904.5	28	1394.0	10	935.5	25	955.0	19	1257.6
5年後									2246.0	2	1151.0	13	906.5	29	1528.5	7	780.0	40	944.0	22	1259.3
6年後											1232.5	14	797.5	40	1676.0	5	767.0	39	896.0	28	1073.8

※愛媛県の国体開催2年後～6年後(2019～2023年)が計画期間

上の表は、過去10年間の国体開催県における国体開催後の得点及び順位の推移をまとめたものです。

これまで先催県の多くは国体開催翌年こそ、10位台の成績を収めていますが、2年後、3年後には、東京都・千葉県・岐阜県といった強豪都県を除くすべての県が20位台又は30位台に大きく順位を下げる傾向にあります。

従って、本県が掲げる計画期間5年間の目標順位「10位台」は、極めて高いハードルであり、達成することは並大抵ではありませんが、これから数年間の取組みこそが、将来にわたって高い競技力を維持していくための重要な時期であると捉え、県内スポーツ関係者が一丸となって、高い目標に向けて果敢にチャレンジします。